

ホーム

ニュース一覧

タグ一覧

プレスリリース

医療人材ニュースのホーム &gt; ニュース一覧 &gt; 皮膚細胞で、夜型判明？国立精神・神経医療研究センターが発見

【PR】ドクター必見！転職後の満足度90%超の医師の転職サイト。

## 皮膚細胞で、夜型判明？国立精神・神経医療研究センターが発見

[ 2013/07/19 ]

BI

Ads by Google

▶ 予防

▶ 治療

▶ 神経

▶ うつ脳

7月16日、国立精神・神経医療研究センターなどの研究チームによる、皮膚細胞を用いて朝型か夜型かを簡単に調べられる手法が発表された。なお、この内容は英科学誌サイエンティフィック・リポーツに発表されている。

(参照:オルニチンの就寝前摂取で眠りの体感向上！オルニチン研究会が試験結果を発表)

同センターの肥田昌子・精神生理昨日研究室長らによると、彼らは「Bmal(ビーマル)」という遺伝子に着目したとのこと。これは、皮膚などの細胞でリズムを刻むという特徴をもつ。これが、人間の寝起きなどをつかさどる体内時計のリズムと関連があるのではないかと睨んだためだ。

そこで、研究チームでは20～30代の男性17名の皮膚細胞を採取し、遺伝子の働きを調べた。すると、遺伝子が働いてたんぱく質がつくられる周期に差があること、長い周期をもつ人ほど夜型の傾向が強いことが明らかになった。この結果は、睡眠障害や治療への応用が利くと期待されている。

タグ : Bmal, 国立精神・神経医療研究センター, 夜型, 皮膚細胞, 睡眠障害

## 食道がんの治療には免疫治療を

[www.comfort-hp.com](http://www.comfort-hp.com)

2万人以上の治療実績。日本免疫治療学会会長の宇野克明医師が直接治療。



Ads by Google

トラッキングURL

関連する記事

- ・ 京大iPS研究所、「効率よく細胞をつくるコツ」につながる新研究
- ・ 国リハ研と理研、ヒト網膜細胞由来の完全な遺伝子16万クローンを公開
- ・ うなぎでできた「UnaG(ユーナジー)」で、肝臓の異常を光でお知らせ
- ・ 思春期に起きる背骨のねじれ…原因不明とされていた病気に「GPR126」の発見で新たな一歩―慶応大整形外科&理化学研究所
- ・ 細胞記憶形成に寄与する新しい酵素複合体を発見、東北大学ほか

アーカイブス

### アクセスランキング

1	日本てんかん協会が法務大臣に「刑法および運転免許
2	転職の悩みを解決する転職支援サイト
3	関い年産産科天學5 藤99教授が指検討会…
4	看護協会、看護職の夜勤・交代勤務の実態調査 過酷な
5	秩原新澤きつ子(骨髄異形成症候群)治療剤「ビダーザ」
6	群馬県 医師不足対策など医療に予算7億3000万円…
7	肺炎球菌・ヒブワクチン同時接種後に死亡の報告。接種
8	貼る科見合めイマー型認知症治療薬が承認へ…
9	JTB、医療ツーリズムに美容を追加、提携病院を拡大
10	新規アルツハイマー型認知症治療薬2剤が認可…

### アンケート

現在、アンケートは行っていません。  
▶ アンケートの集計結果ページ

### PR

医師の転職/求人サイト比較ランキング

吉祥寺美容はアンティアーージュ吉祥寺

港区の婦人科はアヴェニューウイメンズ

看護師転職サイト比較ランキング

鬼塚千尋のネイル通信講座